

誰でも簡単に使えて プロも納得できる散布能力 最高のパフォーマンスを



現在農業用ドローンは大型化しており、搭載できる容量が増加しています。しかし、大型化により作業効率や散布性能も比例して上昇するとは限りません。国内と海外の薬剤の使用法や圃場面積は大きく異なり、日本では機体の使用方法が限定されてしまいます。他にも大型化に比例したバッテリーや充電器、維持コストが大きく増加していき、決して使いやすいとは言えません。そこでマゼックスはこの農業用ドローンをどうしたら国内の圃場で使いやすいか考え続けました。ただ安いだけではない。誰でも直感で利用できる性能で、現場に適合させることができるドローン。そこでたどり着いたのが国内の圃場であればどこでも活躍できる「飛鳥MG/DX」の10Lモデルです。

01 LOW FUEL ECONOMY 低燃費

国内の圃場は1箇所あたり50a以下が多く、そのような圃場で効率的に運用するためにはバッテリー1つあたりの飛行時間が最も大きな課題でした。そこで最も使用される国内の圃場面積を基本にバッテリー容量や内容成分、推進部品の設計、フレームの軽量化を行い、消費電力量の削減を行い飛行時間が大幅に向上しました。また搭載する薬剤をその圃場に必要量だけ搭載することで、1つのバッテリーで最大16L=2haを薬剤散布できます。



移動・薬剤補充

ここでバッテリー交換

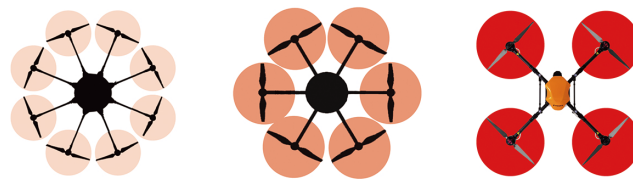
なんと
従来の **2倍**

1つのバッテリーで
合計2ha散布でき、コストが **1/2** に!!

02 SPRAYING PERFORMANCE 特化した散布性能



4枚プロペラのメリット



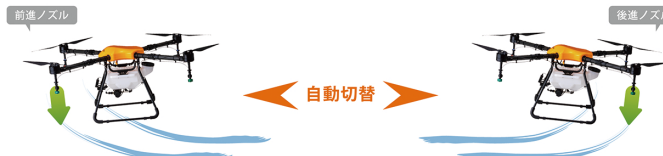
近

ダウンウォッシュの到達距離

遠

モーターの数が少ないほど大きなプロペラを搭載することが可能で、プロペラが大きいほど降下気流の中に薬剤を留めて散布することができます。薬剤が風に流れにくくなり舞い上がる量を抑え、作物の葉裏や根元まで均一に散布することができます。

吐出ノズル切替のメリット



前進は前側ノズル、後進は後側ノズルから噴霧するように自動制御されます。ノズルから噴霧された期間に前側プロペラのダウンウォッシュで薬剤を吹き降ろし、その上を通過する後側プロペラでさらに薬剤を抑え込み、前後進でも散布性能を変えません。

組み合わせにより実現した高い散布性能

日本の農業に適したドローンを生み出すための散布システムは、小型ドローンでも無人ヘリと同等の散布性能を実現しました。通常の2倍のダウンウォッシュを利用でき、穀物はもちろん、野菜や果樹など固い葉裏や根元まで均一に散布でき、ドリフト低減にも有効で周辺の圃場まで流れることを防ぎます。

※この散布システムはマゼックス独自開発によるもので特許取得済みです。